



6月には例年より早めにプール開きを行い、水遊びやプール遊びを楽しむことができました。
毎年異常と言われる猛暑の中でも、暑さに配慮しながら子どもたちが安全に楽しく遊べる環境
作りを整えていきたいと思っています。
お子さんの健康面など、気になることがありましたらいつでもお気軽にお声掛けください。



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿「自立心」について

子どもにとっての自立心とは、自信を持って主体的に行動する力のことを示します。
例えば、遊びの中で自分で遊びたいものを見つけて遊ぶことや、自分で自分の着たい
洋服を選んだりと自分で選択をして自分で決定することだったり、少し難しいことに
挑戦してみて、できた時の満足感を味わうことも自立心へと繋がります。
考えたり工夫したりして諦めずにやりとげるなど、体験の積み重ねによって達成感や自信
を得られることでだんだんと子どもの中に自立心が育っていきます。

保育園では、様々な場面で自分で考えて、自分で決める、ということを意識して
サポートしています。例えば友だち同士のトラブルも、すぐに大人が介入するのではなく
できるだけ自分達で解決できるように見守っています。着替えや身支度なども、
できるだけ自分で、その子に合わせて必要な援助をするという形で「自分でできた！」
という喜びや達成感を感じられるようにして日々を過ごしています。
お家でも、朝夕の保育園での支度(コップを置く、リュックをしまうなど)をお子さんに
任せるなどすることで、小さな積み重ねが後に「自分のことは自分でする」という意識に
繋がっていくと思います。保育園とお家とで協力しながら、子どもたちの「自立心」を育
てていけると良いですね☆

縄跳びに何度もチャレンジ！

女の子を中心に、大縄跳びを頑張って練習していました。
最初はなかなかうまく跳べなかった子も、友だちと一緒に
練習を重ねるうちに跳べるように！
みんなで手を取り合って大喜び☆
失敗を怖がらずに挑戦することができました。

友だちとケンカになった時に…

何かトラブルがあると、「もう大人に言っちゃうから
ね！」と言う事が多いにじ組さん。
お互いの気持ちを言葉で伝えて、どうしたら良いのかを自
分達で考えて解決することも自立心に繋がっていきます。
「大人に言っちゃうからね！」ですぐに介入はせず、子ど
も同士で解決できるように見守っているところです。

友だち同士で褒め合う、認め合う

友だちが描いている絵を見て「上手だね」と声を掛けたり、
友だちの作ったものを「面白そう！教えて！」と言って教
えてもらったり、友だち同士で相手の良い所、素敵な所を
伝え合う姿が見られます。人から褒められたり、認められ
たりすることが子ども達の自信となっています。